

登録コード	T9004210	開講年度	2026				
授業科目	機械システム概論(物化)(16T以降)					担当教員	種村 昌也 他
英文授業名	Introduction to Mechanical Systems					副担当	
単位数	1	講義期間	前期(随時)	曜日・時限	月曜・6時限		対象学生
講義室				授業形態	講義	遠隔授業科目	該当 備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】	
	2 5Tカリ, 2 3Tカリ						
	【22T～】共通教育による幅広い教養と, 工学の専門分野における基礎学力が身についている。				⇔	・機械システムの基礎知識を習得し, それを応用して実際の問題を解決できるようになる。 ・機械システム工学の成り立ちや考え方を理解して, 工業技術について自分で考え他人に説明できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	身近な機械やロボットを題材として, 機械のメカニズムや設計法について学習する。 また, 機械をつくるために必要となる, 材料, エネルギー, 計測・制御技術, などに関する基礎的な知識を習得する。						
(5)授業計画	第01回04/13 概論 担当: 辺見 第02回04/20 材料 担当: 松中 第03回04/27 加工 担当: 榊 第04回05/01 力学 担当: 西村 第05回05/11 エネルギー1 担当: 松原 第06回05/18 エネルギー2 担当: 松原 第07回05/25 ロボット(制御) 担当: 千田 第08回06/01 計測 担当: 高山						
(6)成績評価の方法	各テーマごとのレポートまたは授業内の小テストにより評価する。 講義を通して学んだこと, 身近な機械やロボットについて自ら調べたこと, などをまとめる。 機械の仕組み, 材料, エネルギー, 計測制御技術についての考え方や基礎知識の習熟度を評価する。 8 個の各テーマ毎に100点満点として集計して, 8 個の平均を成績入力する。 ただし, 未提出(0点)が3 個以上の場合は 不可(0点)とする。						
(7)成績評価の基準	8つのテーマの素点を総合し, 100点満点に換算することにより, 機械システムに関する幅広い知識の到達度を測り, つぎのように評価する。 可:60%程度の基礎知識を有する。 良:70%程度の基礎知識を有する。 優:80%程度の基礎知識を有する。 秀:90%以上の基礎知識を有する。						
(8)事前事後学習の内容	技術の幅の広げるためには, この授業をきっかけに, 各テーマの専門書を一読することが望ましい。						
(9)履修上の注意							
(10)質問,相談への対応	各テーマの担当教員へ質問すること。						
(11)その他							
【教科書】	指定なし						
【参考書】	指定なし						